

いわき市におけるスポーツの課題及び提言調査票 全回答

	項目	委員	委員	委員	委員
ハード	1 施設整備について	閉校になった山間地の学校の体育施設活用については、3月30日第2回検討委員会の際、委員長がまとめたように「そう簡単な話ではない」そのとおりだと思うが、多少負担があっても市民の財産を活用できないだろうか。ただ、山間地域において、そのような計画を望んでいるかどうか。現状は？と聞かれると？？？ですが。	いわき市としては、それなりに行っていると思います。しかし、施設をあまり利用しない一般市民には分からないと思います。「この施設が、この様になりました」的なことを知ってもらうことはスポーツに興味を持ってもらう一環になるのではないのでしょうか。「お知らせ」は文字だけではなく、イラスト等を使って分かり易く「一度見て下さい！」的な語りかけにする。	<ul style="list-style-type: none"> 全ての施設に冷暖房の設置（体育館、公民館） トイレの洋式化及びウォシュレット（温水洗浄便座）の設置 	体育施設全般の老朽化に伴う新設、改修工事についての短期、長期的計画の必要性 温暖化への対応 新スポーツ種目への対応
	2 施設管理について	サンマリーナの施設は今どうなっているのですか？何か活用できないか。	長年体育館等の施設を利用させて頂いていますが、そこそこ管理されているとは思いますが。それと体育館の従事者の方が昔から比べると大分良くなったと思います。（対応の仕方等）施設の方が親切だったり、丁寧な対応をしてくれると「また来たい！」と思うのでは？	<ul style="list-style-type: none"> 破損箇所補修を速やかに行う 施設周辺の駐車場の確保 	管理者、利用者の双方の考えを互いに理解し合って使用していく姿勢が必要 利用者側の意見をアンケート調査実施し、より良い施設運営に役立てる 市内の体育施設指定管理者としての管理運営に関する統一したマニュアルがあるのかどうか？
	3 その他（自由意見）	荒川運動公園を見ても、駐車場のスペースが今の倍ぐらい欲しいところ。他の運動施設を見ても同様である。これからの施設には広い駐車場が必要なのは皆さんも同意見だとは思いますが。	大きな施設整備も大事だと思いますが、付帯した機器等の設備も同じく大事だと思います。かなり前から意見として上げさせて頂いていますが、総合体育館の音響設備は長年そのままです。体育館建設時の物とお聞きしていますが、本当でしょうか？音響を使う種目は限られているかも知れませんが、エアロビクス等は不可欠なものです。単に音が出れば良い！ということではなく、ピッチコントロールが途中で変わってしまう等は問題です。このような小さな箇所も目を向けてもらうと有り難いです。	<ul style="list-style-type: none"> 施設内障がい者用歩道（黄色の）（視覚障害者誘導用ブロック）の補修 	<ul style="list-style-type: none"> 近年、甚大な被害となるような自然災害が多発している現状を鑑み、単なるスポーツ施設ではなく、災害時の避難施設として宿泊、生活必需品の備蓄、地域コミュニティーとして施設を充実させていく必要性を感じる。 総合体育館の冷暖房使用時について弾力的運用をするべきではないか。コロナ禍で通気性を確保しなければならぬ状況下、冷房使用は意味がない。にも拘わらず使用料通常の3倍を支払う事について市民は納得できない。
ソフトウェア	1 世代別のスポーツ活動について		スポーツ種目にもよりますが、ある程度の年代別があると良いと思います。指導の立場として「年齢に関係なく誰でも参加できますよう～！」との言葉をよく使いますが、はっきり言って無理があると思います。年齢だけでなく、個別の運動歴・体力も関係しますが、1箇所で（一回で）誰もが同じ様に運動を楽しめるというのは難しいと思います。世代間交流の良い点もありますが、理想は年代別に参加活動ができる場があると良いと思います。	<ul style="list-style-type: none"> 山間部（地域）への出前、運動指導を行う（定期的に月2回位、幼少期、親子参加） 	市民アンケートにもあったように平日午前は高齢者、主婦。夕方からは子どもたち。夜は一般社会人。というような区分があると良いと思います。曜日、時間毎にスポーツ教室を設定し参加者を募り、高齢者の方の為に循環バスを出すなどの利便性を図る。特に午前中は施設の空きが目立つので有効活用すべき。
	2 障がい者のスポーツ活動について	湯本のサンアビリーティーのほかに、障がい者が活動できる（している）施設と、それを指導する方がいるかどうか教えて下さい。	障がい者のスポーツ活動に対しては、頻度は多くないものの、年に数回の形で関係してきました。関わる中で痛感していたことは、指導者やスタッフの方に「どう接したら良いのか？」分かっていないことが多いのです。そこで戸惑うことが多々ありました。サポーターへのサポート（注意点やコツ等）があると手助けもしやすいのではないかと。	<ul style="list-style-type: none"> レクリエーション的種目を取り入れる 	経験、知識が無いのでわからないが、市内ではどのような活動がなされているのか情報が欲しい。 健常者と一緒になって支え合って活動ができるのが理想的です。 パラリンピック種目等の勉強会が必要かもしれない。
	3 スポーツ教室・イベントについて		「体育館に行くぞ！ドキドキ」と構えなくても、気軽に参加できるようなスポーツ教室やイベントがあると良いと思います。 コロナ禍の中で、臨機応変に対応する意味で、オンライン教室等はできないか？オンラインでも対応できる種目はあると思います。これも手前の自由意見で申し訳ありませんが、ヨガはオンラインでも大いに可能です。	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達向けの教室を増やす。（種目多くする） 	現在、子どもと一般向けの教室をスポーツ振興課が開催しているが、傍から見ていて確かに教室開催による効果があると感じている。スポーツをやりたくてもどうしたら良いのか…潜在的なスポーツへの参加のきっかけを模索している方への仕掛けとして大切だと思います。イベントは色々行われているが、市主催のイベントが重なってしまう事があるので対象者が同様な場合は摺り合わせをし、参加者の奪い合い的な事は避けたい。
	4 スポーツ関連情報の発信手法について		長年にわたり公民館主催の講師をさせて頂くことが多いのですが、年に”前期・後期”と市民教室が開催されていて運動系はいつも定員オーバーとなります。まず、企画された情報をキャッチしてもらわないと行動が起きないと思います。	<ul style="list-style-type: none"> 市内全域の保育所、幼稚園、小学校で個人に関連イベントの案内を手渡す。または、地域の回覧板で各家庭にパンフレットを配布する。 	1番は多くの市民の目に触れる「広報いわき」からの発信が信頼性も担保され、市民には受け入れられやすい。スポーツ情報コーナー（名称に工夫）を定位置で確保する。
	5 その他（自由意見）	スポーツと芸術の融合？はできないか。例えば、スポーツとその写真展・彫塑展・絵画展等。その講演会も含めて。			

	項目	委員	委員	委員	委員
ヒューマン	1 指導者・スポーツボランティアの育成について	障がい者に対する指導者の現状は？	フリーでそれを仕事としているスポーツ指導者は、自己指導力を含めて常に自己研鑽のための努力をしている者が沢山います。ボランティアさんは、基本的に無償活動です。そのボランティアさんのレベルをどこに設定するか？ボランティアさんのモチベーションをキープするためのサポートは（定期的）必要だと思います。	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者を指導する指導者の育成 NPO法人うつくしまスポーツルーターズを活用する 	各競技により指導者の育成システムがあるのではないかと。因みにサッカーでは指導資格ライセンス制度が構築されており、レベル別に必要な知識を学び、指導者としてのランク付けと共に資格が無いと大会に参加できないようになっています。有償指導者、ボランティア指導者にかかわらず
	2 ボランティア団体の組織化について			<ul style="list-style-type: none"> 体協関係、スポーツ推進委員、種目別競技団体の一本化 	「福島ルーターズ」のような組織があるとイベント等の時に大変助かると思います。現在、スポーツ推進委員がそれに値する活動をされているのかと思いますが、愛称等を付けていわきのボランティア団体として位置づけははっきりさせた方が良いでしょう。
	3 その他（自由意見）			<ul style="list-style-type: none"> レクリエーション協会、福祉レクリエーションなどの団体を活用する 	
いわきFC	1 いわきFCとの連携について	いわきFCが市民対象にした様々な活動をしているが、その立案等の段階で市側からも参加しているのか？または事前の相談？などはあるのか？	どの様に連携して良いのか？FC側でもっとどのようにしていいのか？戸惑うところがあるのではないのでしょうか？		いち社会団体とするならば他の団体と区別する必要は無いと思います。経済界においては起爆剤的な要素もあることから連携を推進したいのではないかと思います。一般市民からすると、税金を費やすことには反感を持たれる可能性があることから、J3、J2、J1に上がり、市民の雰囲気盛り上げてきた段階で連携のアクションを起こした方が良いでしょう。
	2 その他（自由意見）	いわき市民に対して様々な活動が定着しつつあり、お互い好ましい方向に向かえればと思う。			一番良いのはいわきFCが自前でスタジアムを作り（市は固定資産税を免除する形で支援）、そのスタジアムを中心としていわき市が体育館、グラウンド、野球場、テニスコート、子ども広場（噴水あり）、グラウンドゴルフ、温泉施設（宿泊施設）等を増設し、一大スポーツ公園として整備していくことができればと思う。定期バスを運行し施設までのアクセスを確保し、気軽にバスで行ける施設にする。施設の充実により交流人口の促進にも役立つ。
スポーツツーリズム	1 いわき七浜海道や新舞子ヴィレッジなど地域資源の活用について	復興道路？を使って自転車やローラースケート等のレースなどはできないか。	いわき市は自然豊かです。「いわき七浜海道を歩こう！」等、ウォーキングを市民大会レベルにしては？（コース別とか）アンケート結果もウォーキングがトップです。サンシャインマラソン大会も大分定着しました。（最近自然災害で中止が多いですが）	<ul style="list-style-type: none"> 施設を利用して幼少期のあそびの教室や運動指導を行う 	「いわき七浜」というネーミングにインパクトが薄いように感じるがどうでしょうか？海なし県の地域をターゲットに広報し誘致するのはどうか。競技レベルのイベントが出来るのかはわからないが、併設してレクリエーション部門を設け、より多くの人々が参加できるようにする。
	2 その他（自由意見）				新舞子ヴィレッジには申し訳ないですが、キャンプ場の併設等もファミリー向けには良いのではないかと。家族でツーリングに来ながらアクアマリン福島、いわきららミュージアム、石炭化石館等、市内の施設のツーリングにも参加してもらい、特典を準備したらどうだろうか。

	項目	委員	委員	委員	委員
スポーツコミッション	1 市内環境の実態を踏まえた誘致ターゲット種目について				残念ながら誘致を積極的に呼び掛けできるような施設が現在は無いように思われます。それに伴いターゲット種目は言えない。サッカーはいわきFCと新舞子フットボール場を合わせれば可能かもしれない。
	2 トップスポーツ誘致による交流人口の拡大と地域経済活性化の手法(アイデア)について				冬場、雪が降らないという地域性を「売り」とすれば東北エリアをターゲットに大会を誘致することは可能かもしれない。
	3 近隣市町村との連携(共生)について				必要だと思います。
	4 その他(自由意見)				
その他	1 自由意見	早くコロナが終息し、自由に楽しくスポーツができる日を待ちたいと思います。	現況はコロナ禍で密になれないので、イベントの集客が大変です。		<ul style="list-style-type: none"> ・県内の各市町村におけるスポーツ施設の設置状況を人口比により割り出すといわき市は一体施設が足りているのか不足なのか、どうなのか？ ・スポーツ振興課からだけの発進ではなく、高齢者においては包括支援センター、小学生においては教育委員会等、コラボすることで施設の活用とマンパワーを組み合わせ活動を発展させることが可能なのではないかと思えます。縦割りではなく、横の繋がりを持つことでより一つの事業が大きな効果をもたらすことができるのではないかと思えます。

いわき市におけるスポーツの課題及び提言調査票 全回答

	項目	委員	委員	委員	委員
ハード	1 施設整備について	すでに皆様でもご認識されている部分だとは思いますが、老朽化している設備が目立つのが印象です。アンケートでもあるように健康のため運動をされる方が多くいるかと思っておりますので、より市民が使いやすい施設とすることが、今後の課題かと思っております。また、スポーツだけでなく+α活用できる施設整備を、今後検討していければいいかなと思っております。	冷房完備の総合体育館があると、夏に大きな大会を誘致できると思う。	○陸上競技場。メインスタンドのトイレの老朽化（観客席へ異臭がある）。 ○上荒川公園の駐車場の拡張と周辺道路の整備。	・施設数は十分とは言えないが新設する必要はない。競技人口に対して施設数や設備が十分でない場合は新設も考えられる。設備など老朽化などでの整備の場合は別として、過度に投資する必要はない。
	2 施設管理について	スポーツ×イベントの観点で、少々使いづらいというのが印象です。スポーツを行うことだけが施設管理の目的ではないと勝手ながら思いますので、地域のコミュニティを作るためにも、イベントをしやすい環境や地域と連携した施設管理を行うほか、より市民が使用しやすい施設管理を行うことがまだできてないかなという印象を感じています。	ここ何年か夏季大会による熱中症が多発している。昔はいわき市大会は季候が涼しく、大会運営がやりやすい地区であったが、現在は、冷房がないと難しいのが現状である。複数施設の冷房設置が必要である。		・利用者申し込みなどの事務的管理やフィールドや設備などの管理のみではなく、稼働率を上げる取組み（例；施設主催や市内他施設、市内外の団体などの連携によるイベント・～教室など開催）を考えるべき。行政のみの体制ではなく、民間の考え（稼働率と収益の考え）を取り入れる必要がある。
	3 その他（自由意見）		いわき市は広いので、会場から会場への移動が大変である。例えば、総合体育館と南部アリーナの移動距離があり不便である。中間の常磐地区や小名浜地区に総合体育館があると大変便利である。		
ソフトウエア	1 世代別のスポーツ活動について	スポーツを通じた人材育成を行っていくために、園児・小学生年代で幅広く運動をする環境を作れたらと考えています。そもそも「運動とは」、ということを経験の現場から統一した認識を持つ必要があるかと思っております。スポーツクラブを持つノウハウを行政と連携し、授業に折り込むなど、意図的に多くの教育者や子どもが触れる環境を作っていければと思います。		○高齢者の方々が、身近な場所で、気軽に参加できる定期的な活動やイベントが必要である。	・各活動や教室、イベントについては、各々の活動なのでとくに課題や提言は思いつきません。 ・情報発信手法については、現状詳細はわかりませんが、各活動など別々に発信しているように思われる。PRは、各施設、市支所や公民館などでのチラシ配布や掲載、HP掲載などのSNS活用が多いと思う。例えば、情報発信元は1箇所（⇒市直か委託）、集約元は数か所（⇒市内を数方面に分け、方面別主要市支所で集約）、発信方法は、定期的な発信、紙類、SNS、FMなどなど・・・・・・のようなシステム・体制づくりが必要である。また、情報収集には、施設、公民館、実施団体などからの情報提供と支所の地域振興担当員や実施団体、その他地域の団体など多くの方との協力・連携体制が必要である。
	2 障がい者のスポーツ活動について	障がい者に対する知識がない中あまり語ることはできないかと思いますが、スポーツを行うことによりどのような影響があるか、ということは健康者と変わらないかと思っております。できる範囲は様々かと思いますが、スポーツを行うことによる成長や健康につながることを、障がい者へも提供できればと思います。		○障がい者の方による陸上競技の県大会に審判として参加したことがあるが、各学校ともに熱心な指導や応援があり、交流を含めてとても良い機会だと感じた。	
	3 スポーツ教室・イベントについて	地域でどれほどのスポーツイベントが行われているか、委員でありながらあまり認識できていないのが現状です。アンケートでもスポーツに触れられるイベントを求める声がありますので、積極的に開催していければと思います。昨今のコロナの状況もありますので密にならないようにしながらも、スポーツに触れる環境を地域で作っていければと思います。		○小学生の参加は、保護者の協力が必要。“気軽さ”が一番である。	
	4 スポーツ関連情報の発信手法について	見る、行う、支える等、スポーツに触れる機会は様々だと思っております。スポーツ好きの人だけでなく多くの方に、地域としてスポーツに取り組んでいることを発信できる仕組みづくりがあるといいなと思っております。TV、新聞、チラシ、web、ソーシャルなど		○学校へ情報を発信することが、児童生徒、保護者へ周知することの方法の一つと考える。（しかし、学校では配布物が多いのが現状である。）	
	5 その他（自由意見）				

	項目	委員	委員	委員	委員
ヒューマン	1 指導者・スポーツボランティアの育成について	指導者育成を、クラブとサッカー協会提携で行っています。目的はサッカーを教えるということではなく「そもそも育成とは」という視点から、子どもたちを育成する指導者を養成しようと始めました。地域で子どもを育てるために、どのような視点を持てばいいか共通見解が持てるので、スポーツだけでなく教員の方々とも連携して行っていきたいと考えています。	指導者の中に、まだ体罰や暴言を行っている人が多いようである。学校では禁止しているので、少しずつ減少しているが、スポ少等では、未だに多いと聞く。そのような指導者は、どこの誰が指導監督するのか明確ではない。	○指導者の意識改革やスポーツを楽しむ質を高めるため、人材育成を図るためにも、研修の機会が与えられると良いと思う。	・各スポーツ協会で実施しているプログラムのほか、各協会が連携し全体的に開催できる育成プログラムを検討してはどうか。
	2 ボランティア団体の組織化について	試合運営を行うにあたり、大切な団体だと思います。スポーツを支えるという側面ですが、ただ協力するのではなく「誇りに感じるチームを支える」というモチベーションになっていただくことが大切かと思えます。ただ、クラブからの発信では一方通行になりますので、地域と連携しながら取り組んでいきたいと思えます。			・団体の組織化は難しいと思う。目的・活動内容・これまでの実績・役員の考えなどの理由による。無理に組織化するのではなく、連携・協力体制が取れるような働きかけなどからはじめて、組織化ができるような状況になれば（数団体でも）検討してもいいのではないかと。
	3 その他（自由意見）		いわき市スポーツボランティアに登録して、大会に協力した場合、何か特典があると、沢山の人がスポーツに積極的になると思う。		
いわきFC	1 いわきFCとの連携について				・いわきにチーム拠点があるのにいまいち盛り上がっていない。チーム（といわきスポーツクラブ）と地域間に壁があるようだ。チーム（といわきスポーツクラブ）はもっと情報発信と地域に出向く活動やパークに人を呼ぶ仕掛け（イベント以外）が必要である。地域では、イベント時やサッカー教室以外にもっと選手と触れ合う機会を考えるべきである。そのためにも、地域内での関連団体などの連携・協力体制の確立が必要である。
	2 その他（自由意見）				
スポーツツーリズム	1 いわき七浜海道や新舞子ヴィレッジなど地域資源の活用について	サイクリングしましたが、とてもよかったです！海を見ながら山もあり、首都圏にはない素敵な環境だと感じました。もし自分が観光で地方に行った際、ライトにできるものがあればぜひチャレンジしたいと感じました。観光客向けにも、気軽にできるサイクリングプランがあると、ますます発展していくのではないかと思います。		○レンタルできる自転車を増やしてほしい（?）。	・市内もしくは域内での地域資源と思われる場所やそこで行われるイベントや行事などと繋げる仕掛けを考える。よく言われる「点」ではなく「面」として考える。難しいことではあるが、まずは、海道と新舞子ともう1つか2つの資源の連携から考え、そこから広げていく方法は良いのではないかと。いきなり広域的な考えや取組みは無理だと思う（⇒必ず散らかります）。
	2 その他（自由意見）				

	項目	委員	委員	委員	委員
スポーツ コミッ ション	1 市内環境の実態を踏まえた誘致ターゲット種目について	夏は暑すぎず、冬は雪が降らず、年中通して天候がいいこと。さらに温泉もあるという、素敵な地域だと感じています。 まずは多くの競技人口がいる種目からスタートし、実績を積んでいき様々なスポーツに拡大していくといいかと思ひます。	いわきFCを考えてサッカー		・競技人口の多い少ない、学校で力を入れている競技、強いチーム（クラブチーム、スポ小など）がある、クリナップレスリングなど国内外で活躍、実績のある選手がいる競技、などなど、ターゲットを絞るには、よほどの明確な理由付けが必要だと思う。無理にターゲットを設定する必要はないと思う。例えば、将来、いわきブランドとして確立させたいスポーツまたは種目をターゲットにする（⇒でも理由付けは難しいと思ひます）
	2 トップスポーツ誘致による交流人口の拡大と地域経済活性化の手法(アイデア)について	トップアスリートを目の前で見るといふことは、地域の方々にとても刺激になると思ひます。 昨年サモアにお越しいただいた際、体の大きさだけで圧巻でしたが、さらにプレーを見るとますます憧れが強くなると思ひます。 交流人口としては近隣の地域からの来場が見込めること、地域経済活性として見たさに多くの人が集まること、また来ていただくチームにもファンが多くいるとその来場も見込め、より地域の活性につながっていくと思ひます。	充実した施設の完備	○スポーツで、いわき市の人や経済が活気づくのは、とても素敵だと思う。また、いわき市の自然環境（海、山、気温等）や立地条件（首都圏からの近さ）からも、可能なアイデアだとも思ひます。	・トップスポーツ誘致とは何か？ ターゲットと同様、理由付けは必要である。（例）交流人口拡大策や活性化の手法は、いかに広く周知を図ることが重要である。
	3 近隣市町村との連携（共生）について	浜通り全体とても気候が良いので、スポーツで地域が輝くよう、人を呼び込むことができるのではないかと感じています。 宿泊など地域と連携することが大切なポイントになると思ひますので、実績を積み上げながらパッケージを作り上げていければと思ひます。			・非常に重要な事項だと思ひます。何について連携するか、その方法はなど、十分な検討が必要です。
	4 その他（自由意見）		冬の合宿誘致：雪国からの団体を誘致する。（練習会場、宿泊所、送迎バスなど） ※いわき市内のチームとの練習試合⇒いわきの強化にもつながる		
その他	1 自由意見				・基本理念（？）は、「スポーツを通じた人と地域（まち）の育成」だと思ひます。多面的視点から「スポーツ」を分析し、この地域に必要なエキスの抽出や活用策を検討しながら、子供のころから「この理念」が理解できるような施策を実施していくべきだと思ひます。

いわき市におけるスポーツの課題及び提言調査票 全回答

	項目	委員	委員	委員	委員
ハード	1 施設整備について	いわき市が広いので分散はしているものの十分に近いのではと思います。	子供がスポーツを行う施設の数や整備としては、十分であると思う。さらに学校も含めれば大人も運動できると思うが、学校での先生の対応（カギ閉め等）の負担などを考えると開け閉めのシステムが簡素化できればさらに利用しやすくなると思う。		施設はそれぞれ素晴らしいと思います。但し、気軽に利用しにくい。利用するのに壁（規制）が高いような気がします。個人的に今探しててそう感じました。わがままな意見ですけど。
	2 施設管理について	管理については、問題ないのではと思いますが、使用予約については、現地に行って予約を行うのもどうかと思います。ただ、ネット上の早いもの勝ちも色々あるかと思いますが、空き状況がリアルタイムで見られると良いと思います。	合宿受け入れを特化するのであれば、予約システムの再構築が必要である。	・公共施設に関しては、新たな施設整備よりも既存施設の維持管理、リフォームや運営体制の再検討など、民間活用を含めて行う必要がある。	場所によっては愛想が悪い場所もあります。
	3 その他（自由意見）	アンケートには、「整備されている」よりも「整備が足りない」とする方が多くありますが、35%の方が利用されていない・わからないであり、スポーツ・イベントへの関心の問題の様な気がします。			1で記載した通り。設備をもっと民間人にうまく使いこなせてないと思います。
ソフトウェア	1 世代別のスポーツ活動について		自分の周りでは、それぞれの年代で各種スポーツ活動を行っていると思うが、行っていない方が新たにそのコミュニティに参加するのが難しいと感じる。そのコミュニティの敷居の低さなどが分かりやすく発信できればさらに増えると思う。		もっと若年層（ちびっこ）の利用を活発にして欲しい。 ※スポ少だったり…
	2 障がい者のスポーツ活動について	ボランティアを集めるのが必須だと思います。			まず情報がわからない。SNSなどもっともっと活用して情報を出すべき。
	3 スポーツ教室・イベントについて	スポーツ教室については、コロナのおかげで？オンラインでも十分できると思います。テレビやスクリーンがあれば実際に行く教室以上の情報が入ります。イベントというか、イベントという各スポーツの大会を開いても良いのではないかと思います。	商工会議所が事務局で、㈱いわきスポーツクラブも加盟している「スポーツによる人・まちづくり推進協議会」において、毎年各種スポーツを体験できるイベントを開催している。このほか、㈱いわきスポーツクラブが主となり子供向けのスポーツ教室の開催や企業向けの教室も行っている。この活動が広く周知されれば参加者も多くなるし、子供の全国体力テストも向上すると考える。	・目的や対象、レベルの違いや行政と民間の連携・棲み分けを意識したスポーツ教室・イベントの整理及び効果的な実施方法の検討。	場所を借りるのに規制が邪魔してる気が。営利目的はNG、音出しNGなどなど…もっとやり方次第だと思う。規制もすぐわかる。でも、もっとゆるくしてあげてもいいと思う。
	4 スポーツ関連情報の発信手法について	市民のみなさんの関心と何を見るか、聞くかだと思いますが、FMいわき、回覧板（単独のチラシ）※良いかはわかりませんが、防災無線を利用すると聞いている人は多いと思います。	「スポーツによる人・まちづくり推進協議会」ではTwitterを開設したが、興味ある人じゃないと反応しない。そもそもスポーツに関心がない人を新たに増やすか、実際に行っている人にさらに深い情報を発信するかなど、ターゲットを決める必要がある。	・いわきスポーツコミッションを中心に、FMいわきの番組や、観光まちづくりビューローと連携して情報発信体制の強化を図る。 ・とくに市民が「参加（する・見る）」する機会・イベントの発信に注力する。	SNS・紙媒体etc.. もっとやるべき。情報が全然回っていない。
	5 その他（自由意見）				

	項目	委員	委員	委員	委員
ヒューマン	1 指導者・スポーツボランティアの育成について	スポーツボランティアは、小学生くらいから育てていかないと意識が薄いと思います。指導者については、各スポーツ、昔とは違う考えとなっており、現在の指導者が変わる意識がない種目は変わらないと思います。	㈱いわきスポーツクラブがいわきサッカー協会と連携して行ってきたサッカーの指導者育成事業が、ラグビーやテニスなど他スポーツ指導者も参加できる内容での展開となってきている。場所の確保や講師への待遇の支援があればさらに充実していくと思う。	・健康増進などが目的の場合、動画コンテンツなどである程度対応できる。直接指導が必要な分野について、具体的な情報収集・整理が必要。	そういう指導者の人たちに安心してまかせられる運動プログラムを検討すべき。
	2 ボランティア団体の組織化について	組織化するのは大変なことと思いますが、小学校、高学年から高校生、大人の参加協力してもらって継続して集めていくことが大切だと思います。	現在の指導者は無償が多いところだが、少しでも長くできるような有償にする仕組みづくりが必要と考える。		ボランティア団体はいらないと思う。料金を発生させ明確にしたほうがお互いいいと思う。
	3 その他 (自由意見)				場所があるのに、その場所を活かせる内容の運動プログラムを考えるべき。平の人間は、わざわざ勿来に運動しに行かないと同じで、各地で開催し利用者が気軽に行ける仕組みを作るのが先行だと思う。
いわきFC	1 いわきFCとの連携について	広告塔としても連携していくべきと考えます。最新のスポーツ科学を取り入れるという意味でも必要だと思います。	コロナ禍において、カテゴリーが上がる条件等が緩和されているが、通常だとホームの試合で2,000人以上集めることが条件となっている。Jリーグに上がる上からないではメディアの取り上げ方や全国から対戦相手のサポーターが来るなど、色々な面で変わってくる。様々な業種への影響や経済効果を考えると推進計画にもいわきFCのことを多く記載するなど連携が必要と感じる。	・行政主導の連携・支援体制から、より裾野を広げて「地域密着型」のスポーツクラブとして展開していくための具体的な体制・戦略が必要。 ・いわきFCがホームタウンを拡大したことを契機に、行政レベル・民間レベルでの連携を推進するための体制づくりを行う。	素晴らしい組織・場所・環境があるなら今すぐにも連携をした方がいい。今すぐ、大事な年代に動ける環境を作ってあげた方がいい。
	2 その他 (自由意見)	本来は、FC側の企業・クラブの力を使いたいと思っていましたが、各方面に対し連絡・調整ができていないため、ある意味、結果が出ていないと思います。今ではありませんが、このままだと、SC社内的に「いわき市の協力が・・・」と言い出しかねないので、これも難しいですが、いわき市側でコントロールし使っていく（導く）のはいかなかなと思います。			1と同じ
スポーツツーリズム	1 いわき七浜海道や新舞子ヴィレッジなど地域資源の活用について	ロケーションの観点から、サイクリング、ウォーキングなど、イベントを行うべきだと思います。	サイクリングマップを昨年度作成し、ロードバイクを始める人も多くなってきたことから求める人が多くなってきた。しかし、走ってすぐ帰るなど観光面ではあまり影響がないため、今後はパッケージツアーや泊りをしてもらうように活用していく。	・スポーツツーリズムの具体的なモデルコースや観光商品を作るなど、そのプロモーションを含めた戦略が必要。 ・スポーツツーリズムの受け皿・拠点となる宿泊施設の掘り起こし、ネットワーク化が必要。	思ってるほど、全然知られていないですよ。SNS・紙媒体など使ってもっと情報を拡散すべき。すごく良い施設なので。もったいない。
	2 その他 (自由意見)	サイクリングやロードレース？等ですが、競輪自転車販売・メーカー関係の方と連携・PRしていくべきかと思っています。高校・大学の大会を誘致できれば関係者も多く参加が見込めるのではないかと思います。		・継続的にいわきで合宿を行うチームやその母体と連携し、スポーツおよびそれ以外の分野での交流を活発化する。	

	項目	委員	委員	委員	委員
スポーツコミッション	1 市内環境の実態を踏まえた誘致ターゲット種目について	マラソン、駅伝、サイクリング、ロードレース、トライアスロン、野球、サッカー		<ul style="list-style-type: none"> ハード整備面等いわきの特性を活かした種目を誘致し、波及効果を促す戦略を立てる。具体的には、野球（ファンが多い、野球場が比較的多い）、サッカー（いわきFC、Jヴィレッジなど）、自転車（競輪場、サイクルロードの整備）など。 	いわきには素晴らしい海がある。全国見ても有名なサーフポイントを持っている。「サーフィン」をメジャー化することによって、小さい子供のうちから環境問題（ビーチクリーン）などに触れさせ身近に海を感じさせることができる。
	2 トップスポーツ誘致による交流人口の拡大と地域経済活性化の手法(アイデア)について	いわき市を知ってもらい、良さを感じてもらい、聖地化していくことで交流人口の拡大を図る。	有名な選手が出場するメジャースポーツの開催誘致か、誰でも日本代表になれるようなマイナースポーツのメッカにするか。	<ul style="list-style-type: none"> トップスポーツアスリート/チームの強化合宿を誘致し、滞在型観光と結びつける。 	誘致はもちろんですが、もっと生で公式試合観戦できる機会を提供させてあげたい。
	3 近隣市町村との連携（共生）について	特に、広野町とはJヴィレッジがあるので考えていくべきかと思います。	いわきFCのホームグラウンドとしてJヴィレッジを使用するにあたり、双葉8町村とも連携して応援する動きになってきている。双葉地域でもスポーツイベントを開催しているので、この取り組みを軸に、参加し合うような取り組みに発展させていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> 双葉地域と比べて、いわき市は全体としてスポーツ関連施設等が充実している一方、Jヴィレッジや檜葉運動公園、天神岬スポーツ公園などの資源も点在している。スポーツ関連施設の相互利用からいわき・南双葉都市圏の交流促進と有効活用を図るべき。 いわきFCがホームタウンを拡大したことを契機に、行政レベル・民間レベルでの連携を推進するための体制づくりを行う（再掲）。 	
	4 その他（自由意見）	宿泊、交通、駐車場等、色々問題はありますが、スポーツ誘致に対し、宿泊の補助を出して来てもらう等のこともやってみるのはどうかと思います。景観・環境の地域資源について、十分自慢できるレベルをどう使っていくかと思います。		<ul style="list-style-type: none"> 近隣との連携で、スポーツ庁事業にエントリーする。 	
その他	1 自由意見				時代は変化しています。もっともっと若い子たちの生の意見を直接取り入れた方がいいと思います。すごいアイデアを持っていると思います。

いわき市におけるスポーツの課題及び提言調査票 全回答

	項目	委員	委員	委員
ハード	1 施設整備について	少子高齢化が進み人口が減少する中で、新たな施設を整備するのではなく、既存施設（公園、学校及びスポーツ施設なども含め）を有効活用した整備を行うとともに、類似の機能施設の削減を図るべきである。今後、市が実施する新規施設の整備は極力制限すべきである。	昨年、総合体育館の改修工事が終了し空調設備などが整備され、協議会において選手・観客・役員とも良い環境でイベント等に参加することができるようになった。課題としては、大規模大会に必要な駐車場、アクセス道路の渋滞、また、施設も老朽化（特に陸上競技場の空調設備、スタンドのバリアフリー化などがあげられ、これらの整備で、より充実した施設となり、大規模大会の誘致も可能になるのではないかと。	・いわき市立総合体育館周辺の駐車場がいっぱいになると、路上駐車が発生する。安全管理上の理由からも、駐車場は増設あるいは整備をした方がよいと思われる。
	2 施設管理について	なし		・いわき市営陸上競技場周辺のトリムコースの整備（コースの路面状況や看板表示等）が必要か。
	3 その他（自由意見）	スポーツ施設（建物）に関する長寿命化計画がありますが、施設運営に欠かせない設備に関する更新計画が無いため、各施設内の設備は耐用年数を大幅に超過している状況が多いと思われる。このため、設備に関する更新計画を立て実行されることが、（設備機器に係る）利用者側からの苦情等を少なくするものと考えられる。	スポーツ施設に臨むこと：アンケートから「身近に利用できる施設の増設」とある。北部・南部にそれぞれ体育施設はあるが、21世紀公園に体育館等があると、さらに充実するのではないかとと思う。	・クロスカンントリー走路を新設したい。いわき市立総合体育館近辺、あるいは、21世紀の森公園もよいか。いわきの涼しい気候の中、合宿を組むチームもあるので、さらなる誘致の根拠となる。
ソフトウェア	1 世代別のスポーツ活動について	なし	スポーツ少年団の人数が減少してきており、運動離れがみられる。年代が上がれば、さらにこの傾向が深刻になってきており、生涯スポーツとして活動することも少なくなっていると思われる。幼少期のスポーツ活動を増し、成功体験を多く得ることがスポーツ人口を増やす一つの方法と考える。また、小中高一般のスポーツイベントなど各競技団体に企画してもらい、活動を活性化することも一つの方法と考える。	
	2 障がい者のスポーツ活動について	なし	施設整備の項目でも挙げたように、施設を生涯スポーツに対応できるようにすることが普及につながるのではないかと。	
	3 スポーツ教室・イベントについて	なし	いわきサンシャインマラソンの効果で、市民ランナー等、走ることに興味を持つ市民が増加している。また、自転車のコース整備などで自転車への興味も高まっているように思われる。スポーツ教室へオリンピックや著名人を依頼することで、さらに活性化するのはないか。他の競技団体にも同様に企画をお願いすることで、スポーツ教室、イベントが盛り上がり、活性化していくのではないかと。	
	4 スポーツ関連情報の発信手法について	なし		
	5 その他（自由意見）	なし		

	項目	委員	委員	委員
ヒューマン	1 指導者・スポーツボランティアの育成について	なし		
	2 ボランティア団体の組織化について	なし		
	3 その他(自由意見)	なし		
いわきFC	1 いわきFCとの連携について	「スポーツを通じて、いわき市を東北一の都市にする」をスローガンに活動されており、J3昇格も見えてきている。市が「見る」「応援する」側として、民間団体などと連携して支援することは今後も継続してほしい。	今後、Jリーグ参入が決まれば、スタジアム等が必要になり、スポーツツーリズムにつながってくると思う。	
	2 その他(自由意見)	J2やJ1昇格に備えた競技場の整備に関しては、いわきFCが民間団体であることを念頭に市には公共団体としての節度ある対応を期待する。	グリーンフィールドにナイター設備が必要なのではないかと。	
スポーツツーリズム	1 いわき七浜海道や新舞子ヴィレッジなど地域資源の活用について	「いわき七浜街道」は県が管理する防潮堤の管理用通路を有効活用して、市が自転車や人(散策)が通行できる延長約53kmの市道として令和2年度完成を目指し整備していると伺っております。完成すれば、沿線には商業施設、観光施設及び新舞子ヴィレッジをはじめ様々な施設が立地していることから、スポーツツーリズムの有望な資源になると思います。「健康」を売りにした資源としても、沿線の民間施設と連携した活用などが期待されます。	新舞子については、人工芝を拡張、スタンドを作ることなどが必要と思われる。バリアフリーになっていない海に近い場所なので、津波等自然災害にも対応できていない。観光対応としては、土台である会場の充実を図ることが重要で、具体的にはサッカーの大会、ソフトボール、少年野球など他地域からの多くの関係者を集めることができるイベントは多いと思われるので、観戦者、また参加者に対応できるようにすると良いと思う。	・いわき七浜海道の整備が進んでいる。場所によっては、道幅が狭いところも見受けられる(例:小名浜オーシャンホテル近辺)
	2 その他(自由意見)	本市には、上記のほかに競輪場、いわきグリーンベース、いわきグリーンフィールドの競技施設などを多数有しており、これらと民間の宿泊施設や観光施設などを組み合わせれば魅力のある合宿プラン等も企画できるのではないかと。		・上記に関連し、レンタル可能な自転車が増えることを望む。

	項目	委員	委員	委員
スポーツコミッション	1 市内環境の実態を踏まえた誘致ターゲット種目について	なし	競技人口の多い種目、施設から考えると、野球、サッカー、陸上競技など。また、海を生かしてマリンスポーツ等	
	2 トップススポーツ誘致による交流人口の拡大と地域経済活性化の手法(アイデア)について	なし		
	3 近隣市町村との連携(共生)について	なし	Jヴィレッジとサッカーイベント、大会等で近隣市町村と連携する。いわきFCの大会がJヴィレッジということもあり、今後、Jリーグ参入を考えれば必要と思う。Jヴィレッジは福島県としての施設ですので、市と県との連携となる。	
	4 その他(自由意見)	なし		
その他	1 自由意見	①施策達成度を測る指標として「人数や団体数」などを指標とする場合において、単に数値のみを記入するのではなく、併せて、市人口に対する比率(%)も表示してはどうか。(今後人口減少が進み、次の例えのように同じ1万人でも人口が多い場合と少ない場合では意味合いが異なるのではないか) 例えば、人口30万人に対する1万人(3.3%)の利用と、人口25万人に対する1万人(4%)の利用では、市民一人当たりの利用回数が異なってくるため。 ②第2回委員会で、「資料2-1」新計画(案)の「第2章 本市のスポーツを取り巻く現状と課題」において、アンケート調査から、1の人口動態・・・から4のスポーツ大会・・・で、現状等の把握を行い、5の現状から見た課題とされているのは、あまりにも強引である。5で「同規模自治体との対比」を行い、いわき市(アンケート結果)がどのような位置(特性)にあるかを把握してから「現状からみた課題」となるのではないか。その後、10年後はどうあるべきかを当該委員会として議論した結果を、第3章 計画の基本方針と目標としてはいかかがか。		